

次期観光振興計画の在り方

資料 1

- 1 長期的な観点で目標を立てるとともに、時代の変化に柔軟に対応する観点から、**2030年時点での目指すべき姿・方向性を示す**とともに、計画期間は**2021年度から2025年度までの5年間**とする。
- 2 幅広い業界関係者のご意見、市民の皆様のご意見を踏まえて策定した「京都観光振興計画2020」及び「京都観光振興計画2020+1」の取組や成果を踏まえつつ、京都の置かれた環境変化や京都観光を取り巻く課題、新型コロナウイルス感染症の影響からの力強い回復等を考慮し、新たな目標設定や実現に向けた取組を検討する。
- 3 現在検討中の、本市の次期京都市基本計画（2021年度～2025年度）との整合性を図り、本市政策の一体性を確保する。
- 4 なお、「国連観光・文化京都会議2019（R1年12月開催）」の成果文書である「観光・文化京都宣言」の理念に基づき、観光事業者や観光客、市民が京都で尊重し、遵守いただけるような理想的な**行動の基準（京都スタンダード（仮称））**を、審議会で意見をいただいたうえで、**本計画策定に先駆けて策定**することを目指す。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
現行 市基本計画	→											
次期 市基本計画		→										
観光振興計画2020	→											
次期観光振興計画 実現すべき姿		→										
次期観光振興計画 計画期間		→										
京都スタンダード（仮称）	→											→

<みんなで目指す2025年の姿>

次期京都市基本計画の検討状況（新型コロナ前の状況）

○市民生活との調和が図られ、観光の経済効果が広く行き渡っている
○京都観光の質の向上し、観光客が高い満足を感じている

○国際MICE都市としての京都ブランドが確立している
○京都の観光を支えている担い手の確保が進んでいる

次期観光振興計画策定スケジュール

